

2001年3月30日

## タイ「地場の市場プロジェクト」中間報告 No.2

2000年10月～2001年2月

日本国際ボランティアセンター（JVC）

松尾康範

2000年10月にノンウェンソーケプラ村（ノンヤプロン村の本村）で朝市がスタートしたことにより、プロジェクト対象4地域全てで朝市が始まった。ただし、この対象4地域のうち、「チャイパッタナー村＆ノンブア村」の朝市が現在休止している。一方、プロジェクトの波及効果として、新たに始まったポン郡ソーケノックテーン村の朝市は順調に取り組まれ、ポン郡に接するナコンラチャシマー県の2つの地域でも新たに朝市が始まった。

以下活動状況とプロジェクト地域の変化についてまとめる。

### 1. 主な活動（2000年10月～2001年2月）

この間は特にそれぞれ朝市を経験した村人の経験交流に力を入れてきた。外から的人が朝市はいいというだけではなく、朝市を経験した村が増えたことで、実際に朝市の活動で試行錯誤する村人たち自身が意見交換できる場と他の村の朝市を見学しあう場を繰り返し提供してきた。それぞれの村での活動は、下記の4地域の現状を参照にして欲しい。

#### 1) 活動支援グループ「アーシアン」がプロジェクト地視察

2000年11月「地場の市場」プロジェクトの支援グループの一つ「アーシアン」が活動地を訪れた。「アーシアン」は生活クラブ生協千葉に関わる有志から生まれたN G O。女性が中心となり活動を繰り広げている。今回は、生活クラブ千葉の生産者である「元気クラブ」も応援に駆けつけてくれた。はじめてのプロジェクト地域訪問だったため、まずはプロジェクト地の現状を知るということが目的。活動地としてはノンウェンソーケプラ村、ノンテー村を訪れた。また、日本の消費者運動の代表として、生活クラブ生協の活動についても各訪問村で話していただき、それをもとに村人たちと交流した。

#### 2) 久留米公民館主催のスタディーツアー

2001年1月下旬、久留米公民館主催のスタディーツアーが、プロジェクト地域を訪問した。この久留米のツアーは年に1回行われ、今回が7回目になる。このツアーに参加した人が、自分たちの力でボランティアチーム（K O V C）を立ち上げ、継続的に国際協力について考え、活動する場をつくっている。また、K O V Cはこのプロジェクトの支援

グループにもなってくれた。今回ツアーに参加したメンバーもＫＯＶＣに関わり、継続的に活動に関わってくれることを期待する。

### 3 ) 4 地域活動報告及び年間計画ミーティング

今年1年の振り返り、そして来年の活動を計画するプロジェクトミーティングを2月19日20日の2日間に渡り開催した。プロジェクト各地域から約30名の村人が参加した。講師として、コンケン大学の元教授バンチョン・ゲオソーン氏、イサーンＮＧＯＣＯＤ委員長及びプロジェクト運営委員のサナー・ウィチャイウオン氏を招いた。

今年の活動を振り返り、来年度計画の中で今後の課題として村人から挙げられた事は、以下の4点である。

- 1 . 生産技術能力（有機農業）の向上
- 2 . 加工技術の向上
- 3 . 朝市の規則づくりの強化
- 4 . 市場開拓に関する能力向上

プロジェクトチームでは、この村人から挙げられた課題に沿って、来年度以降も研修や他地域への見学などの機会提供を継続しておこなっていく。

4 ) 3月は、ＪＶＣ東京で開かれる年次計画ミーティングに備えて、3月5日にＪＶＣタイスタッフミーティング。この1年間の振り返りを行ない、来年度の計画を立てた。

### 2 . プロジェクト対象4地域の現状

#### 1 ) コンケン県ポン郡ノンウェンソークプラ区ノンヤプロン村＆ノンウェンソークプラ村＆ノンウェンコート村

1999年度の調査段階では、分村であるノンヤプロン村を中心に関わった。以前は、ノンヤプロン村に住む村人も本村から農地のあるこのノンヤプロンのあたりまで通っていたが、やがてそれが面倒になり、ノンヤプロン村を設立したという背景がある。朝市に興味を示したノンヤプロン村が、本村と協力し合い朝市を開催するということを提案。ノンヤプロン村と本村のノンウェンコート、ノンウェンソーケプラの3村共同で9月27日に朝市委員会が設立された。前回の報告でも記載したが、各村から4人（女性3人、男性1人）の代表とプラス書記1人、13人の委員会となった。実際に第1回目の朝市が始まったのは、10月に入ってからである。月、水、土と週3回の朝市と決めたが、それ以外の日も売り買いに来ている人の姿が見られる。村人が作った農作物だけではなく、村周辺で取れる魚介類や村人手作りのお菓子が並ぶなど、活気ある朝市が村に誕生した。これまでの朝市の経験を元に、外部からの業者がこの朝市で物を販売することを一切禁止した。しかし、ここに住む村人が外部から持ってきた商品を販売するということに関しては、急には否定できなかったため、徐々に調整をしているところである。

## 2 ) コンケン県ポン郡ペックヤイ区ノンター村 & ヤナーン村

1999年11月、調査の一環でヌーケンの村の朝市を見学したことがきっかけで村の朝市が始まった。前回の報告と同様な規模で朝市は継続されている。この村に関わるうちに、少しづつこの村の問題点が見えてきている。この村には、農業グループ、貯蓄グループ、織物グループなど10以上の村人によるグループがあるが、そのどれもが統一性に欠け、村の活動としてのまとまりがない。そのため朝市の活動に関しても、村全体の活動として成り立っているとはまだ言えない。

こうしたことを配慮し、2月3日、コンケン大学内にある農村開発研究所（R D I）スタッフのウィチアン・センチョート氏を講師として招き、村のお寺で集会を開いた。タイの村では、政府を通じてたくさんの資金援助がなされているが、そのどれもが継続性に欠け、その資金に関してもいつのまにか消えてなくなってしまう、というタイの村の一般的な状況を具体的に村人に対して説明をしてもらった。「お金が外から來るのでグループ化する」という構図はこのノンター・ヤナーン村にも見られるため、この集会のなかであらためて村のグループ化の意味を村人たちは認識した。

## 3 ) コンケン県ポン郡カオニイウ区 チャイパッタナー村 & ノンプア村

調査を始めた99年5月の時点で、この村に既に朝市があった。（99年2月スタート）その朝市の活動状況を学ぶためにこの村を調査対象地域に取り入れた。日曜日だけの小さな朝市が細々と取り組まれていたが、そこに行行政区レベルの組織であるオーポート（行政区運営機構）が入り込み、村レベルではなく、その上の行政区レベルの市場を開くことが提案され、2000年9月に実際にその市場が開催された。しかし、その朝市は村人による市場というよりも、普通の町にある雑貨などを置く定期市となんの変わりもなく、結局2回ほど開催しただけで崩れてしまい、それと同時に村の小さな朝市も消滅してしまった。こうした行政区レベルの活動との関係を配慮し、我々はその動きに少し距離を置いて村に関わっていたが、少しづつその調整をし始めた。1月24日には、村人による本来の朝市に興味のある村人数人をノンウェンソークプラの朝市に見学に連れていった。まだ調整にはしばらく時間がかかりそうである。

## 4 ) コンケン県シーチョンプー郡シーチョンプー区コークスーン村 & コークパークン村

上記した3村は、コンケン市内から約70 - 80キロ南下した地域に広がる。このシーチョンプー郡は、コンケン市内から西へ約100キロ離れたところにある。こうした活動地の距離の制約があり、このプロジェクトがスタートしてから、コークスーン村 & コークパークン村の朝市の活動にあまり関わりきれないでいるというのが現状である。このプロジェクトのキーパーソンでもあるヌーケン・チャンターシーに関しても、他のNGOのスタッフとして、その仕事に追われているため、この村の朝市に関するフォローアップは仕切れて

いない。朝市の状況としては、いまだ火曜日の朝市だけが際立っている状況であるが、2月に行なわれた「1年を総括するミーティング」での話し合いがきっかけとなり、現在村人による市場を取り戻していく、という動きになっている。同じ時間帯で市場を開くと火曜市と重なってしまうことを考慮し、夕市という形で村人による市場を再開する計画段階にある。

### 3. 他地域の現状及びネットワークとの関係について

イサーンNGOCOD（タイ東北部のNGOネットワーク団体）と活動を共にしているため、タイ東北部のNGOが企画する数々の会合に参加した。そうした成果の表れとして、NGOスタッフを通じて、地場の市場プロジェクトに興味を持つ人たちが徐々に増えている。他村から朝市見学に来る人もあらわれた。1月には、朝市が始まったばかりのノンウェンソーケプラの朝市にコラート県2地域の村人が見学に来た。JVCが見学後のフォローアップも行なったので、その2地域でも朝市が始まることになった。

調査スタート時点（99年5月）では2地域（コーケパークン＆コーケスーン村、チャイパッタナー＆ヤナーン村）だった朝市は以下の6地域13村に広がった。

- ・コンケン県シーチョンブー郡シーチョンブー区コーケスーン村＆コーケパークン村
- ・コンケン県ポン郡ペックヤイ区ノンティー村＆ヤナーン村
- ・コンケン県ポン郡ノンウェンソーケプラ区ノンヤプロン村＆ノンウェンソーケプラ村＆ノンウェンコート村
- ・コンケン県ポン郡ソーケノックテーン区ソーケノックテーン村＆ソーケノックテーンパッタナー村＆ソーケカームノーアイ村（2000年9月16日～）
- ・コラート県プアラーアイ郡ノーンウア区ノーンチャン村（2001年2月17日～）
- ・コラート県プアラーアイ郡ノーンウア区クムマウ村＆スワンモン村（2001年2月21日～）

以上